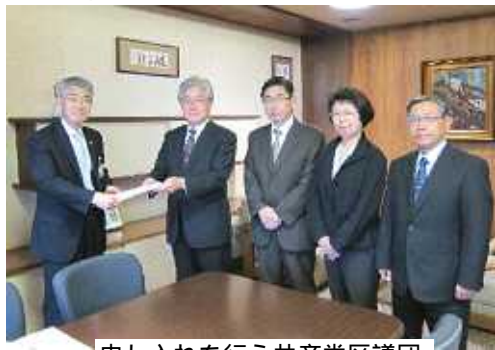


国も福島県以外の一定の除染基準示す… 区独自の放射線測定拒否は許されません



申し入れを行う共産党区議団

共産党区議団は、10月24日、再々度、放射線測定実施などを求める申し入れを区に行いました。

福島原発事故以来、特に子育て中の方から子どもたちの安全と健康を危惧、放射線量の測定実施を求めるきびしい要望が区に寄せられています。日本共産党区議団は、再三にわたって、放射線測定と除染の実施を

共産党区議団が再々度の申し入れ 区議団による保育園などの測定に協力を

申し入れ、議会質問でも求めてきました。しかし実施を拒み続ける区の姿勢は、絶対に容認できません。この間、共産党区議団は、やむなく独自測定を実施。汐入地域などで毎時1マイクログシーベルト超のスポットの存在も出ています。

子ども施設、学校、公園等と学校・保育園給食の放射能測定を早急に実施する荒川区への再々申し入れ

(以下 要請項目)

- (1) 区内の子ども施設、学校、公園等の測定を実施し、必要な除染を行うこと。
- (2) 学校、保育園の給食食材について測定体制を確立すること。
- (3) 区内の小売店をはじめ影響を受けている事業者に対して助成を行い、その損害を国、東電に要求すること。
- (4) 緊急に我が党区議団として各保育園・学校の測定を実施しますので協力をすること。なお、測定への協力が無い場合には、必要な行政的な手続きをとることとします。



今回の申し入れでは、区が測定をしない場合、共産党区議団として学校、保育園など測定することに協力するように求めました。非協力的場合行政手続きをとることも明らかにしました。応対した三嶋副区長は、これまでの方角は変わらないとしつつ、何らかの動きがあることを示唆する発言も行いました。区へのいっその働きかけが必要です。

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員団

区政報告
ニュース

443

2011年10月30日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
E-mail arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
E-mail yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページをご覧ください。
「横山幸次区議」で検索して下さい。

裏面 「公園サポート
隊」...、区の防災など

定例法律相談

11月7日(月)
午後6時～8時

横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。

生活相談は、随時受け付けています。

TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

町屋6丁目の障害者施設がもうすぐ完成に 近くの信号設置や段差解消、コミバスなど急がれます

まちの話題あれこれ

旧母子寮跡地に建設中の障害者施設も来年4月開設に向けて2階、3階と建設が進んでいます(左下写真)。同時に気になるのが、尾竹橋通りから熊野前に抜ける道路の交通量が増え、結構なスピードで通過していく車両が最近目立っています。信号なしの抜け道として知られてきたのでしよう。途中は、運転手さんの休憩場所にもなっているようです。ところで、以前から私は指摘してきましたが、この道路を挟んで、障害者施設、高層住宅群、有料老人ホーム、母子寮、保育園など密集しており「福祉のまちづくり」に必要な地域

が必要で、



建設中の障害者施設とルネ町屋前のT字路

横山幸次

「公園サポート隊」ってご存知ですか 町屋ひろば館の職員が出前の児童事業！



**廃止になる「町屋ひろば館」の児童事業は
大事な区民の財産…これからも残したい！**

ある日、町屋ひろば館側の道を
通っていると「公園サポート隊」
の黄色い横断幕が眼に入りました。
その側には、シートが敷いてあり
多くの幼児とお母さんが集まって
いました。こんな光景は、初めて
でしたのでさっそく担当課に問い
合わせると、町屋ひろば館の担当
の方から電話がありました。

この事業は、2008年からは
じまり、町屋ひろば館の区職員一
人が担当、各地域の公園を巡回し、
子ども、保護者に呼びかけて…
砂や泥・土遊び
虫取りや花・草木と触れ合う
幼児体操や紙芝居、手遊び

など行っているようです。年2
0回開催、雨天中止ですが、年間
700名から1000人近い親子
が集まるそうです。お話を聞くと
最近では、泥あそびやドングリあ
そびを経験していないお母さんも
多く、大変好評のようです。

こんな大事な児童事業が、町屋
ひろば館の廃止によって、今後ど
うなっていくのか？全て民間任せ
でよいのか？「経済効率」でなく
子どもの最善の利益から考える時
ではないでしょうか。



2011年度 11月 公園サポート隊の計画(11時から12時)

日にち	時間	場所	主な内容
11月8日(火)	午前11時~12時	藍染公園	どんぐりあそび
11月9日(水)	午前11時~12時	天王公園	どんぐりあそび
11月15日(火)	午前11時~12時	尾久の原公園	どんぐりあそび
11月16日(水)	午前11時~12時	日暮里南公園	どんぐりあそび
11月29日(火)	午前11時~12時	尾久の原公園	親子あそびと制作あそび

防災特集…

震度7に耐える「防災センター」のいま… いざというときに役立つ施設になっているか？

防災センターの1・4
階は、啓発用コーナーと会
議室。2階は東京都の防
災無線やテレビ会議設備、
区内5か所の高所カメラ
から区内全域が見える設
備があります。3階は災害対策本部会議を開く会
議場と映像システムです(下)。



総工費約5億円
で1997年開設。
本庁舎から100
メートル程度とは
いえ、一定の距離

があります。緊急時に役立つのかと議論がされて
きましたが、それだけに有効に活用できるように
しなければなりません。

委員会の審議でも、災害対策本部を本庁舎に置
くが、東京都からの情報受ける「防災無線システ
ム」は、防災センター内です。入った情報は、職
員が伝令によって伝えるとのこと。システム全体
の再検討が必要ではないでしょうか。

防災用バケツ1万個を設置 実際の活用と防災意識啓発…？

先の震災対策調査特別委員
会で突如！ポリバケツ1万個
(1ヶ336円)を今年12月ま
でに購入の事業説明がありま
した。さらに来年度1万個購
入の計画です。災害時に地域
の初期消火力を強めるため、



防災広場、児童遊園や住宅の軒先、町会会館などに設置するとい
うことでした。バケツリレーを想定しているために一ヶ所30~
50個必要とのこと。委員会で横山区議は、水利はどうなってい
るか、設置場所の問題などただしました。区は、防火水槽、防災
井戸などから汲むというのですが、実際の効果はどのなのでしょう
か。いざ地震と言ったときにバケツが散乱してしまうのではない



か、50人も一カ所に集まれるか…
などなど実効性はどのなのでしょう
か。密集市街地に設置というなら、
墨田区京島のように「路地尊」(左
・雨水を地下に貯めて手動ポンプで
くみ上げる)のようなエコにもなり、
防災まちづくりの象徴になるものを
設置する方がより効果的だと思うの
ですが…。